

阿蘇山

火山活動度レベル

火山活動度レベルは、3 (小規模な噴火の可能性) です。

概 況

本日 (15 日) 12 時頃、国土交通省九州地方整備局の協力を得て阿蘇山の上空からの観測を行いました。

中岳第一火口では、湯だまり内の数ヶ所で高さ約 5 m の土砂噴出があり、湯だまりの量は約 2 割、色は黒灰色で、午前中の観測と比べ変化はありませんでした。

昨日 (14 日) 20 時 41 分に土砂噴出に思われる震動波形を観測しました。

機上観測による火口内の状況

本日 (15 日) 12 時に行った上空からの観測では、湯だまり内の数ヶ所で約 5 m の土砂噴出があり、湯だまりの量は約 2 割、色は黒灰色でした。また、火口底北と南西側にある噴気孔からは引き続き勢いよく高温の火山ガスが噴出していました。新しい火山灰は観測されませんでした。

火口内や火口縁周辺の熱異常の部分はありませんでした (図 1 ~ 2)。また南側火口壁下の熱異常の領域は 2004 年 6 月 2 日と比べると小さくなっていました (図 3)。

地震・微動活動の状況

火山性地震、及び孤立型微動は引き続きやや多い状態が続いています。

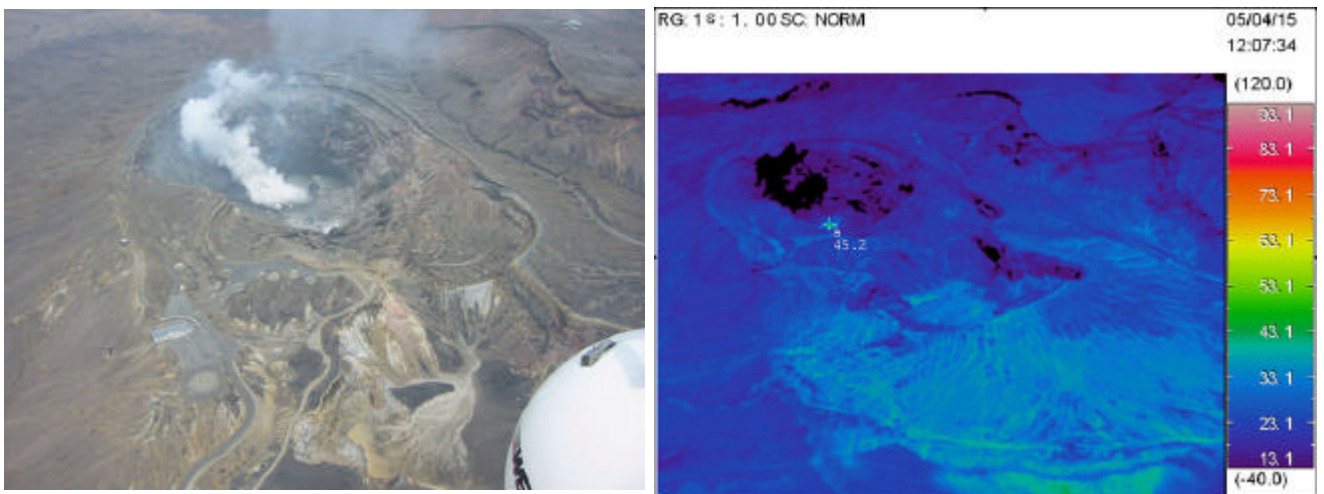


図 1 2005 年 4 月 15 日の阿蘇中岳第一火口周辺の様子 南側より撮影
火口周辺には熱異常の領域はありません。

温度表示を 2004 年 6 月 2 日の熱画像に合わせるため温度補正を施しています。

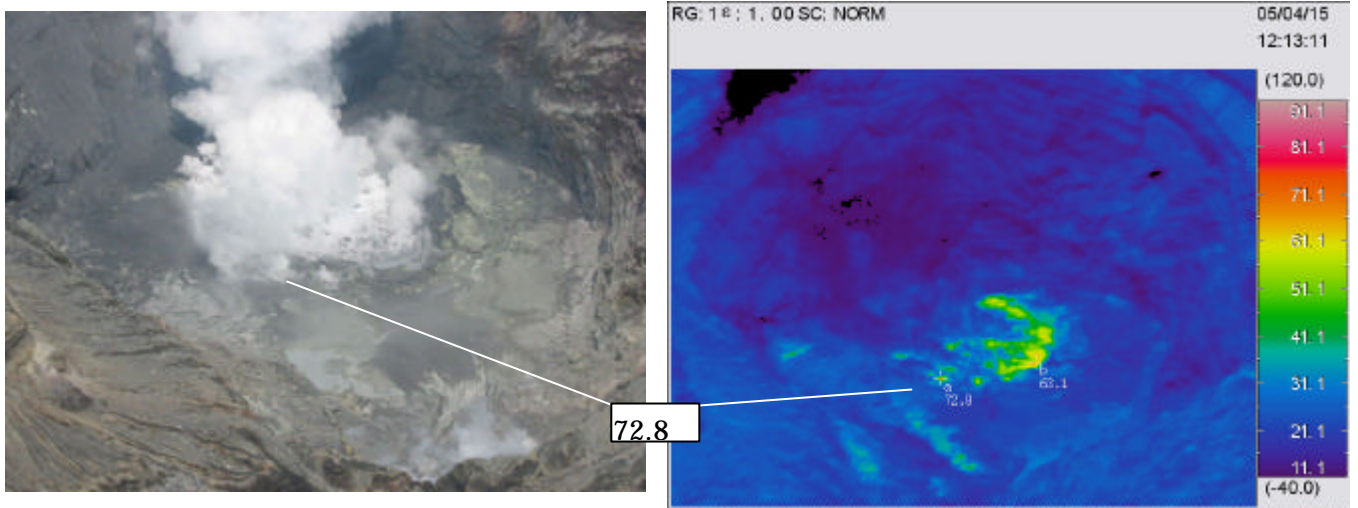


図2 2005年4月15日の阿蘇中岳第一火口底の様子 南側より撮影
湯だまりの部分以外に顕著な熱異常の領域はありません。
最高温度(参考値)は、72.8 でした。

温度表示を2004年6月2日の熱画像に合わせるため温度補正を施しています。

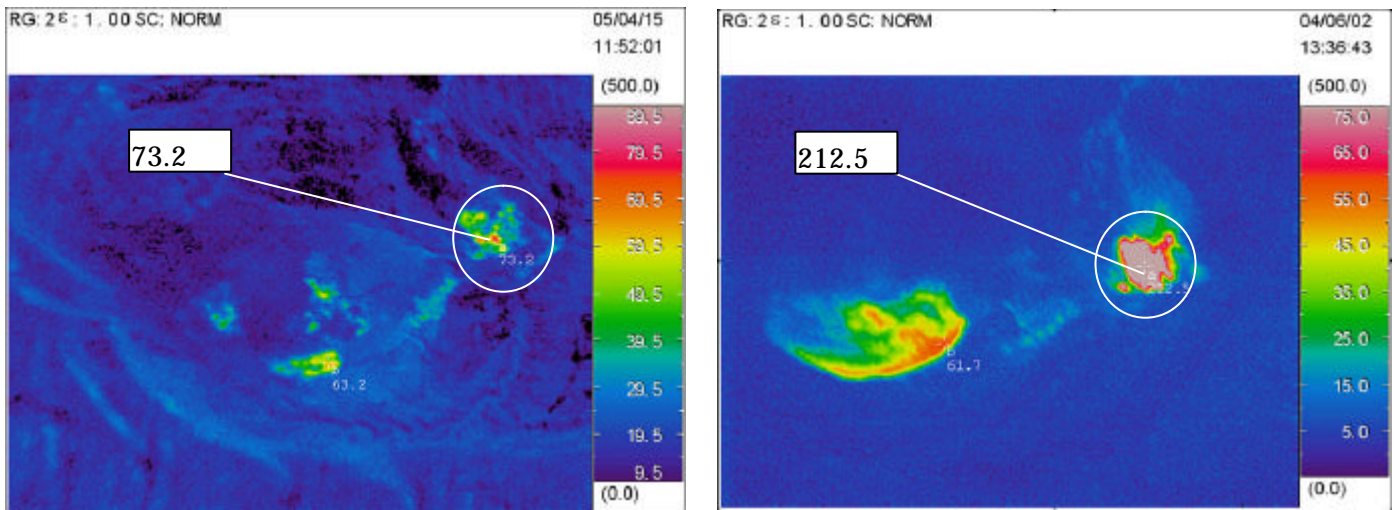


図3 2005年4月15日(左)と2004年6月2日(右)の熱映像の比較 西側より撮影
南側火口壁下の熱異常の領域(白囲み)は縮小している。湯だまりの中央部分は噴煙のため温度が低く表示されている。

最高温度(参考値)は、2005年4月15日が73.2 で、2004年6月2日が212.5 でした。

温度表示を2004年6月2日の熱画像に合わせるため温度補正を施しています。